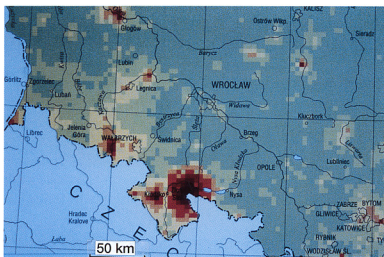


東欧の鉱業と風物



1. 銅鉱石(ルビン鉱床産). 含銅けつ岩(ベルム紀)の層理を切る黄銅鉱脈がある珍しい標本(ポーランド地質調査所付属博物館).



2. 地球化学アトラス, 土壤中のヒ素分布図(部分). 最濃集部は、スーデチ山塊中のズロチー金砒素鉱床. ポーランド地調は、土壌、河川堆積物、地表水を対象とした全国の地球化学アトラス(23成分、250万分の1の縮尺、試料密度は25km². 都市部4km²グリット)を1995年に完成。(ポーランド)



3. カルロヴィバリの温泉街, ボヘミア地方エツツ山地の南麓にあり, 古くからヨーロッパの王侯貴族・著名人が長期保養のため訪れている。(チェコ)



4. ブラド伯爵の居城“ドラキュラ”城, ブカレスト北西500kmのシギョアラ市のジュラ紀石灰岩の丘の上に建つ, 伯爵は国内外の敵を徹くため刺公といわれ, のちに怪奇小説「ドラキュラ」のモデルとなった. 自身は, オスマントルコ軍との戦いで, 1462年に戦死。(ルーマニア)



5. ボリス地区スクロスカNi-Fe鉱山露天採掘場(後方山の中腹)、手前は小麦畑。(アルバニア)



6. 幹線鉄道を守るトーチカの列(デュロス市近郊)、トーチカに使用された鉄は、低品位のラテライト鉄鉱石から精錬された、トーチカは国内各地に多数建設され、使用された鉄鉱石は莫大な量に達する。(アルバニア)



8. ラチ市にある銅製錬所の溶鉱炉、長年使い込まれた3基のうち1基だけが運転されていた。(アルバニア)



7. ボリス地区スクロスカNi-Fe鉱山のフェロニッケル工場跡と選鉱すり、自由経済移行後に、経済性が低下したため活動を停止した。(アルバニア)



9. ラチ付近の勤労者集合住宅、パラボランテナは、ヨーロッパからの放送を受信するため、アフリカ中央部上空に浮かぶ静止衛星に向いている。(アルバニア)